

中学部 3 年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和 7 年 1 2 月 1 0 日（水）

2・3 校時（9：40～11：00）

場 所：中学部 3 年生教室

指導者：三澤言枝（T1） 須田裕（T2）

1 単元名 「^{えんしょく}縁食～みんなで作って、みんなで食べよう～お茶っこマルシェ編」

2 単元の目標 国語（P257）社会（P278）職業・家庭（P473、487、492）

	主たる教科 国語・社会・職業・家庭
知識・技能	・調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。（職・家） ・地域生活や地域の活動に関心を持ち、地域の方の取組を理解する。（社）
思考力・判断力 表現力等	・友達との話合いや地域の方との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気付き、自分の考えを伝え合いながら解決策を考える。（国）（職・家）
学びに向かう力 人間性等	・地域の方と関わりながら活動することを通して、「お茶っこマルシェ」を成功させ、地域の方を喜ばせようとする態度を養う。（職・家）

3 生徒と単元

本学年は男子 2 名、女子 3 名の計 5 名で構成されており、内 1 名は車椅子（または歩行器）を利用している。友達や教師と関わることが好きな生徒が多く、休み時間には一緒にカードゲームや運動を楽しむ姿が見られる。昨年度は大館市健康課から依頼を受け、「野菜・くだものもう一品 Challenge！」という単元で本校の農場で野菜を栽培したり、さつまいもスムージーを作って校内で試食会をしたりした。また、最終的に地域のスーパーに自分たちが作ったスムージーのレシピを配付する活動も行った。健康的な食生活の大切さを学びながら、地域の中で自分たちの活動が認められる経験を積んできており、調理や地域とつながりをもつことへの興味・関心が高まってきている。一方で、自分たちで課題解決に向けて話し合いながら物事を進めていく経験や、自分たちの活動が地域にどのような影響を与え、どのように役に立っているのかに気付き、地域活動への参画意識を十分もつまでには至っていない。

今年度は、大館市地域おこし協力隊の佐藤さん御夫婦から依頼を受けて、地域の食材を使って調理をし（地産地消）、地域の人たちと共に食べる活動（縁食*1）に取り組んでいる。前期の活動では、「としよ木漏れ日*2」で地域の高齢者が集まる「お茶っこ会」に参加し、地域で収穫された梅を使って「梅シロップ」を一緒に作った。その梅シロップを使い、本校で実施した「達子森の夏祭り」で、来場してくれたお客様に梅サイダーとして提供する活動をした。自分たちが作ったものを、目の前のお客様に提供し、「美味しい」という反応を直接もらうという体験を経て、「私たちの『食』の提供で、地域の人たちをもっと笑顔にしたい」という更なる意欲につながった。

本単元は、大館市の特産物である枝豆を使ってクッキーを作る。佐藤さん御夫婦からの依頼を受け、としよ木漏れ日のお茶っこ会で開催される『お茶っこマルシェ』で、「地域の高齢者の方たち*3」に自分たちが作ったクッキーを振る舞うことをゴールとする。前年度から積み重ねてきた調理の経験を生かし、どのような「味」や「形」、「大きさ」にすれば地域の方々をもっと笑顔にできるかなど、複数の視点から生徒たちで予測を立て、計画・調理し、振り返りをする。地域の方々との関わり合いながら、生徒たちが主体性をもって地域社会に関わろうとする姿を目指すとともに、目標達成に向けて協力し合って物事を進めていく力や、話合いの中で自分の意見や他者の意見を出し合い一つの結論を導き出す力など、コミュニケーションの力を育みたいと考え、本単元を設定した。

単元の目標を達成することができるように、以下の点に留意して指導する。

- ・地域生活や地域の活動に関心をもてるように、依頼者の地域での取組について学ぶ機会を設定したり、実際に活動場所を訪れて、依頼主や地域の方と関わる機会を設けたりする。
- ・自分の考えを伝え合いながら解決策を考えられるように、教師は生徒の意見をつないだり、他者の意見に注目できるように可視化した教材を用意したりする。
- ・地域の方に喜んでもらおうとする態度を養えるように、依頼者や第三者（校内の教職員や保護者など）からの中間評価をもらったり、試食の感想をもらったりする機会を定期的に設け、自分たちの取組で相手を喜ばせることができるという実感を得られる場面を繰り返し設定する。

*「縁食」…京都大学准教授 藤原辰史氏が提唱する、食を通して人と人とのゆるやかなつながりを作るという概念。

*「としよ木漏れ日」…大館市白沢にある民間の施設。コミュニティスペースや民泊、佐藤さん御夫婦が飼われている秋田犬と触れ合える施設として運営している。

「地域の高齢者の方たち*3」…お茶っこ会に参加している地域住民の方たち。70代後半～80代の方たちが中心で後期高齢者に該当する。

4 指導計画 (総時数 56 時間)

小単元名	小単元の目標	主な活動内容	重点を置く 資質・能力			時数	扱う 教科等
			知	思	学		
(1) オリエンテーション・後期任命式	・前期の活動をまとめ、後期に向けての活動に見通しをもつ。 ・依頼者に前期の活動を報告し、後期の依頼を受ける。	・前期の活動まとめをする。 ・前期の活動報告をする。 ・後期の依頼を受ける。		◎	○	4 時間	社会 国語
(2) 調理実習	・昨年度までの調理の知識・技能を生かして、枝豆クッキーを仲間と協力して作る。	・枝豆クッキーの調理をする。	◎	○		8 時間	職業・ 家庭 数学
(3) 話し合い活動	・調理実習を振り返って、できたことや課題点を共有し、次回の調理計画を立てる。	・調理の振り返りをする。 ・試食をする。 ・課題に対する改善策を立てる。		◎	○	8 時間	国語 社会 職業・ 家庭
(4) 中間評価	・依頼者と共に試食をし、達成できてきたこと、課題点を共有し、今後の活動に見通しをもつ。	・試食をする。 ・依頼者から中間評価をもらい、達成度を確認したり、課題を見付けたりする。		◎	○	2 時間	社会 国語 職業・ 家庭
(5) 調理実習	・話し合い活動で出た改善点を踏まえて、調理をする。	・枝豆クッキーの調理をする。	◎	○		8 時間	職業・ 家庭 数学
(6) プレゼンテーション 試食インタビュー	・枝豆クッキーについてプレゼンテーションをし、試食をしての感想や課題点についてインタビューする。 ・インタビューしたことを踏まえて、課題をどう解決するか話し合っ改善策を考える。	・プレゼンテーション(試食も含む)をする。 ・インタビューをする。 ・話し合い活動をする。		◎	○	8 時間 6/8 時	国語 社会 職業・ 家庭
(7) 調理実習	・話し合い活動で出た改善点を踏まえて、調理をする。	・枝豆クッキーの調理をする。	◎	○		4 時間	職業・ 家庭 数学
(8) 話し合い活動	・調理実習を振り返って、できたことや課題点を共有し、次回の調理計画を立てる。	・調理の振り返りをする。 ・試食をする。 ・課題に対する改善策を立てる。		◎	○	4 時間	国語 社会 職業・ 家庭
(9) お茶っこマルシェ準備	・提供に必要なものを協力して準備する。	・準備物の制作をする。		○	◎	4 時間	国語 数学
(10) お茶っこマルシェ	・「お茶っこマルシェ」で枝豆クッキーを高齢者に振る舞う。	・枝豆クッキーを振る舞う。		○	◎	2 時間	社会 職業・ 家庭
(11) 振り返り	・活動を振り返り、学びの履歴を制作する。	・活動の振り返りをする。 ・学びの履歴制作をする。		◎	○	4 時間	社会 国語

5 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・「お茶っこマルシェ」の成功を目指し、枝豆クッキーを振る舞う相手（高齢者）を意識しながら、枝豆クッキーの課題について話し合っ解決策を出す。（思判表）（学人）

(2) 学習過程

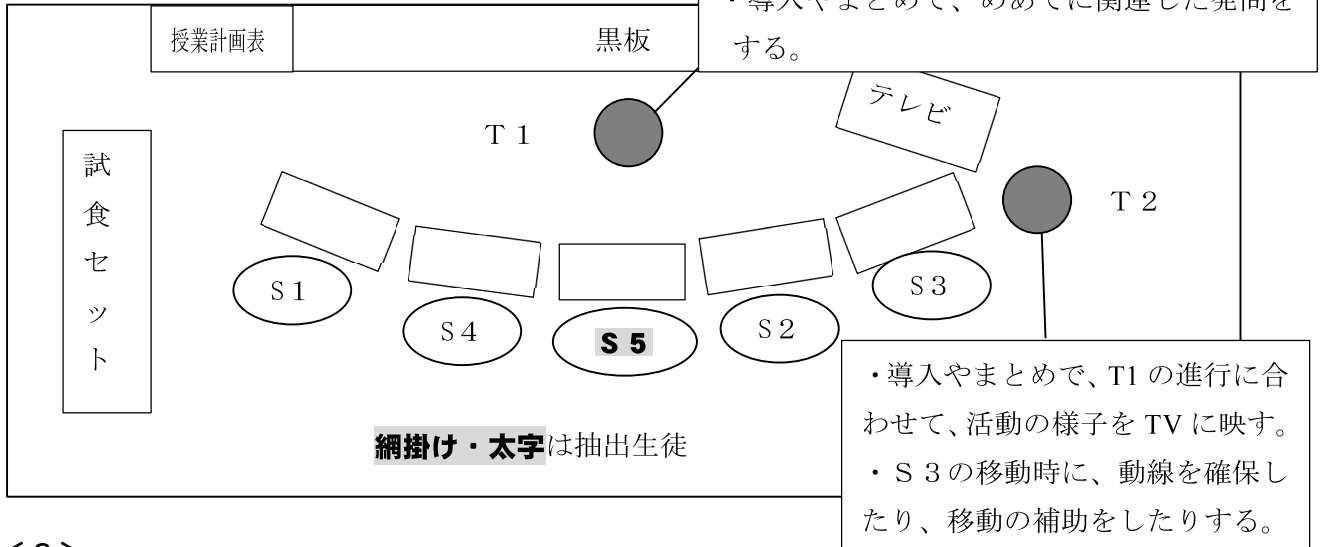
時間	学習活動	手立てと配慮点 評価
9:40 (5)	1 はじめの会 (1) 前時の振り返り (2) めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの活動を思い出すことができるように、依頼内容を質問したり、前時の活動を写真で提示したりする。 T 1 ・単元のゴール（高齢者にクッキーを振る舞う）を視覚的に提示し、確認をする。T 1
<p>めあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを通して、お茶っこマルシェで高齢者に振る舞う枝豆クッキーを、さらにグレードアップするための方法について話し合い、結論を出そう。 		
9:45 (35)	2 プレゼンテーションと試食インタビュー (1) 生徒から生徒へ ① 甘いクッキー ② おつまみクッキー (2) 生徒から参観者へ 2グループ同時	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの取組が試食をする相手に伝わるように、プレゼンテーションのポイントやインタビュー内容（味、大きさ、食感について）を事前に確認する。T 1 ・S 3の生徒が発表の際、移動しやすいように、動線を確保したり、移動の補助をしたりする。T 2 ・生徒たち一人一人が意欲的にインタビューできるように、インタビュー役、書記役、試食サービス役と役割を設定する。T 1 ・まとめと振り返りで活動の様子を思い出せるように、写真や動画で記録を撮る。T 2
10:20 (30)	3 話し合い活動 (1) インタビューした内容をグループごとに共有する (2) よかった点・課題点を見付ける (3) 課題点（味、食感、大きさ）についての改善点を話し合う	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>《評価の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝豆クッキーを振る舞う相手が高齢者であることを意識して話し合い、解決策を出している。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が話し合ったことを視覚的に理解できるように、端的にホワイトボードに書き留める。T 1～T 2 ・話し合いが最終的に着地するように、生徒の発言に対し、教師が問い直しをしたり、会話のつなぎ役をしたりする。 T 1～T 2 ・生徒の活動の姿からよかった言動や行動を個人用のホワイトボードに書き留める。T 2
11:50 (10)	4 おわりの会 (1) まとめと振り返り (2) 次時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を使いながら文章を考えられるように、個人用ホワイトボードに書き留めた生徒それぞれのよかった点を提示する。T 2 ・本時の活動写真や成果物を確認しながら、各グループの取組を具体的に称賛する。T 1 ・今後の活動に見通しがもてるように、授業計画表を提示しながら次回の活動を説明する。T 1

(3) 本時の評価

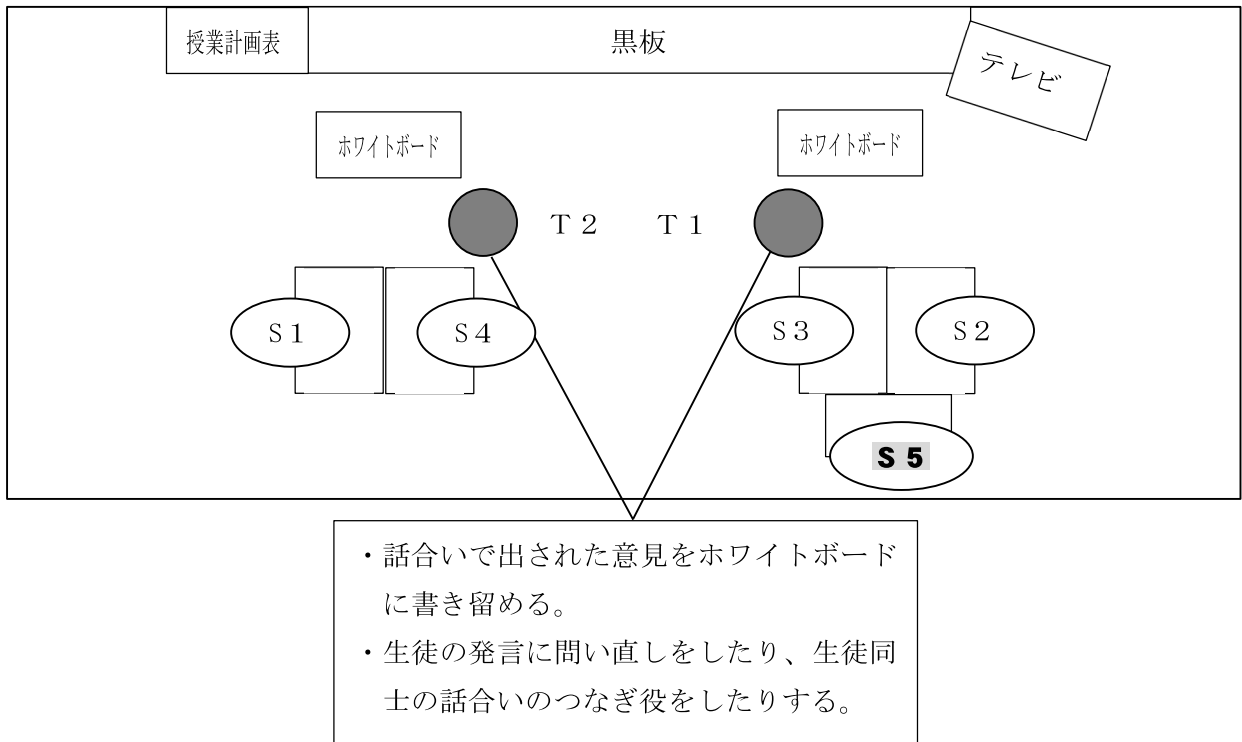
- ・生徒が「お茶っこマルシェ」の成功を目指し、枝豆クッキーを振る舞う相手（高齢者）を意識しながら、課題について解決策を出すための手立てや環境設定は適切だったか。

(4) 環境設定について

<1、2、4>



<3>



単元（題材）の目標

	主たる教科 国語・社会 職業・家庭
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。（職・家） 地域生活や地域の活動に関心を持ち、地域の人の取組を理解する。（社）
思考力・判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 友達との話合いや地域の人との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気づき、自分の考えを伝え合いながら解決策を考える。（国）（職・家）
学びに向かう力 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人と関わりながら活動することを通して、「お茶っこマルシェ」を成功させ、地域の方を喜ばせようとする態度を養う。（職・家）

個別の目標と主な手立て

S 5 (3年) 抽出	本単元の生徒の実態										
	<ul style="list-style-type: none"> 本授業に積極的に参加し、友達と一緒に調理実習や話合い活動に取り組んでいる。 自分の意見を持ち、他者に伝えることができるが、言葉の意味を取り違えていたり、自分の考えを順序立てて表現することが苦手だったりするため、自分の考えがスムーズに相手に伝わらないことがある。 										
	本単元の目標										
	<table border="1" style="width: 100%; border-color: red;"> <tr> <td></td> <td>主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動</td> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。 としよ木漏れ日の活動に関心を持ち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。 </td> </tr> <tr> <td>思判表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 友達との話合いや依頼者との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながら解決策を考える。 </td> </tr> <tr> <td>学人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 「お茶っこマルシェ」を成功させるために、友達と進んで話し合い、地域の人に振る舞う枝豆クッキーをよりよくしようとする。 </td> </tr> </table>				主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。 としよ木漏れ日の活動に関心を持ち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。 	思判表	<ul style="list-style-type: none"> 友達との話合いや依頼者との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながら解決策を考える。 	学人	<ul style="list-style-type: none"> 「お茶っこマルシェ」を成功させるために、友達と進んで話し合い、地域の人に振る舞う枝豆クッキーをよりよくしようとする。
		主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動									
知・技	<ul style="list-style-type: none"> 調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。 としよ木漏れ日の活動に関心を持ち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。 										
思判表	<ul style="list-style-type: none"> 友達との話合いや依頼者との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながら解決策を考える。 										
学人	<ul style="list-style-type: none"> 「お茶っこマルシェ」を成功させるために、友達と進んで話し合い、地域の人に振る舞う枝豆クッキーをよりよくしようとする。 										
↓											
小単元の目標	本時の目標と評価規準	本時の目標に対する手立て									
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが作ったおつまみクッキーを友達や参観者に振る舞う時、クッキーの特徴やアピールポイント、悩んでいる点を順序立てて分かりやすく伝える。（知技）（思判表） 話合い活動で、枝豆クッキーを振る舞う相手が高齢者であることを理解した上で、具体的な理由を併せて自分の意見を友達に伝える。（思判表）（学人） 	<ul style="list-style-type: none"> 話合い活動の時に、インタビューで集まった意見を基に、どう改善すればよいのか、理由を併せて自分の考えを友達に伝える。（思判表） <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューの結果を確認し、見付かった課題点をどう解決するか、話合い活動の中で自分の意見に、理由を併せて友達に伝えている。（思判表）（学人） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えについて、理由を付けて伝えられるように、「理由は～からです」の話型を示したり、本人が発言したことに対し、問い直しをしたりする。 言い間違えや、意味の捉え間違いが起こらないように、本人が発表する前に内容を一緒に確認する。 									

S 1 (3年)	本単元の生徒の実態									
	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業に積極的に参加し、友達と一緒に調理実習や話し合い活動に取り組んでいる。 ・自分の意見を持ち、他者に伝えることができる。一方で、自分の意見が他者の意見と違う時に、他者の意見を素直に受け入れるのに時間が掛かったり、意見の相違により活動に消極的になったりすることがある。 									
	本単元の目標									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動</td> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・調理で使う材料を正しく測ったり、加工の仕方を工夫したりしながら手順に沿って調理をする。 ・としよ木漏れ日の活動に関心を持ち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。 </td> </tr> <tr> <td>思判表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や試食を通して達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながらよりよい方法を考える。 </td> </tr> <tr> <td>学人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・調理や話し合いで想定されるトラブルを事前に確認し、対応策を教師と一緒に考えながら、気持ちを安定させて活動をする。 </td> </tr> </table>				主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・調理で使う材料を正しく測ったり、加工の仕方を工夫したりしながら手順に沿って調理をする。 ・としよ木漏れ日の活動に関心を持ち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。 	思判表	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や試食を通して達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながらよりよい方法を考える。 	学人
	主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動									
知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・調理で使う材料を正しく測ったり、加工の仕方を工夫したりしながら手順に沿って調理をする。 ・としよ木漏れ日の活動に関心を持ち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。 									
思判表	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や試食を通して達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながらよりよい方法を考える。 									
学人	<ul style="list-style-type: none"> ・調理や話し合いで想定されるトラブルを事前に確認し、対応策を教師と一緒に考えながら、気持ちを安定させて活動をする。 									
	小単元の目標	本時の目標と評価規準	本時の目標に対する手立て							
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが作ったおつまみクッキーを友達や参観者に振る舞う時、進行役が分かりやすく相手に伝えられるように、ICTを使って補助をする。(知技) (思判表) ・話し合い活動で、意見の相違があってもよいことを理解した上で、具体的な理由を併せて自分の意見を友達に伝える。(思判表) (学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の時に、理由を併せて自分の考えを友達に伝える。(思判表) <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の中で自分の意見を、理由を併せて友達に伝える。(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が意見を述べやすいように、初めに意見を発表する場面を設定する。 ・意見の伝え方を定型文で提示する。 							
S 3 (3年)	本単元の生徒の実態									
	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業に積極的に参加し、友達と一緒に調理実習や話し合い活動に取り組んでいる。 ・話し合い活動ですぐに自分の意見を出すことは難しいが、2つの選択肢の中から自分の意見を選ぶことができる。また、経験したことを思い出しながら、「○○だから」と短い文章で理由を述べるができる。 									
	本単元の目標									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動</td> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・枝豆クッキーの調理を通して、友達と協力しながら調理を進めたり、調理の初歩的な技能を身に付けたりする。 ・お茶っこマルシェに参加する人が依頼主や地域の高齢者であることを理解する。 </td> </tr> <tr> <td>思判表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との話し合いで教師と一緒に自分の考えをまとめ、友達の前で自分の意見を発表する。 </td> </tr> <tr> <td>学人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達、地域の人たちとの活動を楽しみながら、本人が自信をもって取り組める活動を増やし、「お茶っこマルシェ」を成功させようと意欲的に取り組もうとする。 </td> </tr> </table>				主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・枝豆クッキーの調理を通して、友達と協力しながら調理を進めたり、調理の初歩的な技能を身に付けたりする。 ・お茶っこマルシェに参加する人が依頼主や地域の高齢者であることを理解する。 	思判表	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との話し合いで教師と一緒に自分の考えをまとめ、友達の前で自分の意見を発表する。 	学人
	主たる教科 国語・社会 職業・家庭 自立活動									
知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・枝豆クッキーの調理を通して、友達と協力しながら調理を進めたり、調理の初歩的な技能を身に付けたりする。 ・お茶っこマルシェに参加する人が依頼主や地域の高齢者であることを理解する。 									
思判表	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との話し合いで教師と一緒に自分の考えをまとめ、友達の前で自分の意見を発表する。 									
学人	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達、地域の人たちとの活動を楽しみながら、本人が自信をもって取り組める活動を増やし、「お茶っこマルシェ」を成功させようと意欲的に取り組もうとする。 									
	小単元の目標	本時の目標と評価規準	本時の目標に対する手立て							
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが作ったおつまみクッキーを友達や参観者に振る舞う時、進行役が分かりやすく相手に伝えられるように、成果物を使って補助をする。(知技) (思判表) ・話し合い活動で、自分の意見やその理由を選択肢の中から選び、友達に伝える。(思判表) (学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の時に、本人が安心して自分の意見やその理由を選択肢の中から選び、友達に伝えることができる。(思判表) <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の時に、自分の意見やその理由を選択肢の中から選んで、友達に伝えている。(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が安心して活動に取り組めるように、導入で活動内容を端的に伝えたり、教師が本人の近くで活動を見守ったり、必要な場面で支援をしたりする。 ・自分で意見を選択できるように、意見やその理由の選択肢をいくつか用意する。 							

単元で扱う各教科等の目標・内容

国語 P555、557、559（特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中）

知技 1段階

ア（ア）身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
（カ）普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うこと。

知技 2段階

ア（ア）日常生活の中での周りの人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。
イ（ア）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。

思判表 2段階

A 聞くこと、話すこと
ア 身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えること。
イ 相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすること。
ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えること。
エ 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすること。
オ 物事を決めるために、簡単な役割や進め方に沿って話し合い、考えをまとめること。
B 書くこと
ア 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。
イ 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。

社会 P560、561（特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中）

ア 社会参加ときまり 1段階

（ア）① 集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現すること。

ア 社会参加ときまり 2段階

（ア）② 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けること。

イ 公共施設と制度 2段階

（ア）③ 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。
④ 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現すること。

数学 P567、579（特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中）

思判表 1段階

C 測定
イ 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。
D データの活用
イ 身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。

内容 1段階

C 測定
（ア）⑤ 目盛の原点を対象の端に当てて測定すること。
⑥ 長さの単位について知り、測定の意味を理解すること。
⑦ かさの単位について知り、測定の意味を理解すること。
⑧ 長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること。

職業・家庭（特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中）

職業分野 P605

B 情報機器の活用 2段階

- | |
|---|
| ア コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れること。
イ コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する。 |
|---|

家庭分野 P605

A 家族・家庭生活 2段階

- | |
|--|
| エ (ア) 地域生活や地域の活動について調べて、理解すること。
(イ) 家族とのふれあいや地域生活に関心を持ち、家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気付き、表現すること。 |
|--|

B 衣食住の生活 2段階

- | |
|--|
| ア (ア) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解すること。
イ (ア) 身体に必要な栄養について関心を持ち、理解し、実践すること。 |
|--|

B 衣食住の生活 1段階

- | |
|--|
| ウ (ア) 調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切にできること。
(イ) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫すること。 |
|--|



本単元の目標

	主たる教科 国語 社会 職業・家庭
知識・技能	・調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。(職・家) ・地域生活や地域の活動に関心を持ち、地域の人々の取組を理解する。(社)
思考力・判断力 表現力等	・友達との話合いや地域の人との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気付き、自分の考えを伝え合いながら解決策を考える。(国)(職・家)
学びに向かう力 人間性等	・地域の人と関わりながら活動することを通して、「お茶っこマルシェ」を成功させ、地域の方を喜ばせようとする態度を養う。(職・家)

抽出生徒 S5 の単元目標に含まれる各教科等の目標・内容

国語 P 5 5 5、5 5 7、5 5 9 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中)

知技 1 段階

ア (カ) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うこと。

知技 2 段階

イ (ア) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。

思判表 2 段階

A 聞くこと、話すこと

ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えること。

オ 物事を決めるために、簡単な役割や進め方に沿って話し合い、考えをまとめること。

B 書くこと

ア 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。

社会 P 5 6 0、5 6 1 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中)

ア 社会参加ときまり 2 段階

(ア) ㊦ 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けること。

イ 公共施設と制度 2 段階

(ア) ㊦ 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現すること。

職業・家庭 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編小・中)

職業分野 P 6 0 5

B 情報機器の活用 2 段階

イ コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する。

家庭分野 P 6 0 5

A 家族・家庭生活 2 段階

エ (イ) 家族とのふれあいや地域生活に関心を持ち、家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気づき、表現すること。

B 衣食住の生活 1 段階

ウ (イ) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫すること。

自立活動実態シートより

① 指導目標

- ・適切な言葉遣いや態度、距離感をとりながら活動に取り組む。
- ・忘れ物をしないように、提出物の期限日やチェックリストを確認して、荷物を準備する。

② 指導目標を達成するために必要な項目

健康の保持					心理的な安定			人間関係の形成				環境の把握					身体の動き					コミュニケーション									
①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤					
						○			○	○			○					○										○			○

自立活動（特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編幼・小・中）

P 6 0 心理的な安定（2）

（2）状況の理解と変化への対応に関すること

P 6 7 人間関係の形成（2）～（3）

- （2）他者の意図や感情の理解に関すること。
- （3）自己の理解と行動の調整に関すること。

P 7 2 環境の把握（1）

（1）保有する感覚の活用に関すること。

P 8 3 身体の動き（1）

（1）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。

P 9 2 コミュニケーション（2）（5）

- （2）言語の受容と表出に関すること。
- （5）状況に応じたコミュニケーションに関すること。



	主たる教科	社会	職業・家庭	自立活動
知・技				・調理の基本的な知識や技能を身に付け、調理の手順や仕方を工夫する。 ・としょ木漏れ日の活動に関心をもち、お茶っこマルシェで枝豆クッキーを振る舞う人たちの特徴（高齢者）を理解する。
思判表				・友達との話合いや依頼者との関わり合いを通して、達成できたことや課題に気づき、自分の考えを他者と伝え合いながら解決策を考える。
学人				・「お茶っこマルシェ」をさせるために、友達と進んで話し合い、地域の人に振る舞う枝豆クッキーをより良くしようとする。